



MS 153-30004

ハイレスponseマフラー Ver.S

'10.04 ~新規制対応商品 取付取扱説明書

この度はクラウン用ハイレスponseマフラーVer.Sをお買い上げ頂きありがとうございます。
開封時に必ず構成部品があることをご確認下さい。本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは登録後に行ってください。

■品番・適合

品 番	適合車種	型 式	エンジン	年 式	備 考
MS 153-30004	クラウン	GRS 214 } アスリート GRS 210 }	2GR-FSE 4GR-FSE	'13.01 ~	*1 *2 *3

- *1 バックフォグランプ及びアドバンストパッケージ装着車には取付け出来ません。
- *2 本マフラー取付けにはバンパーの一部削除が必要となり、別売りのリヤバンパースポイラー (MS343-30004/5) との同時装着が必須となります。(同時装着の際は、リヤバンパースポイラーの取付けを先に行ってください)
- *3 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp>

■構成部品

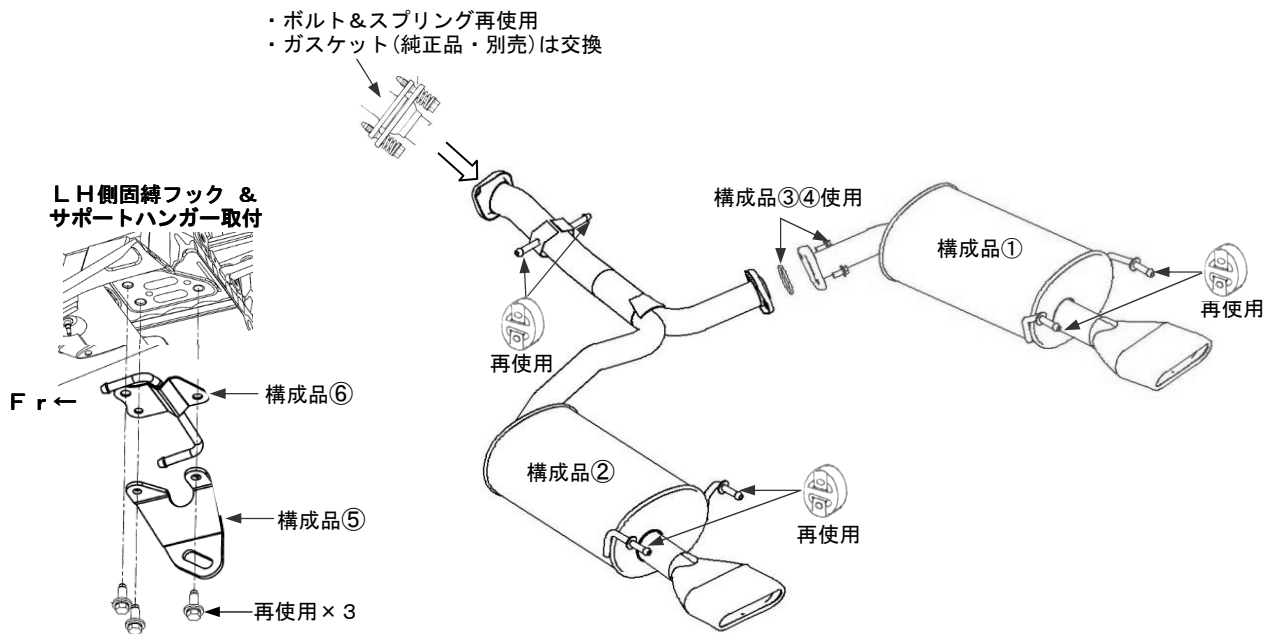
	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	テールパイプマフラー RH		1	
②	テールパイプマフラー LH		1	* 4
③	右マフラー用ガスケット		1	
④	右マフラー用ボルト		2	M10×1.25 L20
⑤	固縛フック		1	
⑥	サポートハンガー		1	
⑦	取付取扱説明書 (本書)		1	

- *4 車両センターパイプとの締結ガスケット (17451-31012) は同梱されていません。

■取付上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用いただける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
TRDスポルティーボサスペンション、エアロパーツとの同時装着は下記警告(2)を遵守の場合は問題ありません。
 - (2) 保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず必ず上記適合車種に取付して下さい。
 - (3) 本品の取付には、バンパーの1部削除に伴いリヤバンパースポイラーとの同時装着が必要になります。
- * 確認 (1) 開封し取付けの前に、テール出口部に傷、凹み等が無いか確認して下さい。車両取付後に判明しましてもクレームに応じられない場合があります。
- △ 注意 (1) 本商品の交換、取付作業は必ず専門の修理工場で行って下さい。
- △ 注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)及び本書の注意・警告事項に従い、確実な作業を行って下さい。
- △ 注意 (3) 本品の交換は、エンジンを停止しエキゾーストパイプ系統の冷却を確認してから行って下さい。熱いうちに作業しますと、火傷や事故の原因となる場合があります。
- △ 注意 (4) 取付後は換気の良いところで排気洩れや他部位との干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。
- △ 警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm (注1)**を確保して下さい。
(注1: 車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- △ 警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- △ 警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- △ 警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。

構成図



仕様

エキゾーストパイプ：分岐前φ60.5 分岐後φ50.8 (SUS304)
テール出口部：楕円170mm×51.5mm「左右出し」(SUS304)

作業注意

純正マフラー取外しの際、サポート部に使用した潤滑剤が残っていると、走行時に横方向の強い力が加わった場合マフラー後端とバンパースポイラーが干渉する可能性があります。サポートゴム取付時に潤滑剤を使用する事はお止め下さい。取外時に使用した場合は完全に除去して組付けて下さい。

取付要領

- (1) 純正のテールパイプを修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従って車両から取外す。

△注意：車両側パイプと純正テールパイプとの締結ボルト、スプリングは再使用します。

- (2) 車両左側のマフラーサポートハンガー1対式の固縛フックを取外す。

△注意：取外したボルト3本は再使用します。フック&ハンガーは使用しません。

- (3) 構成部品⑤固縛フックと⑥サポートハンガーを上記構成図に従って35.3N・mで取付ける。(⑥が上側)
- (4) 別売りのリヤバンパースポイラー(MS343-30004/5)の取扱説明書に従い、バンパーを加工しリヤバンパースポイラーを取付ける。
- (5) センターパイプ後端のガスケットを新品に交換する。(同梱されていません)
- (6) ②のテールパイプLHを車両のセンターパイプに取付け、サポートゴムを取付ける。

△注意：車両側パイプとの締結部は仮締めとして下さい。

- (7) 構成部品③ガスケット・④ボルトを使用し①テールパイプRHをLHに取付け、サポートゴムを取付ける。

△注意：②テールパイプLHとの締結部も仮締めとして下さい。

- (8) 左側の①テールパイプ位置がリヤバンパースポイラーと干渉せず、スポイラーのテール出口位置のほぼ中央にあることを確認しながら車両側パイプとの締結ボルトをスプリングを介して43N・mで締付ける。
- (9) 右側の②テールパイプも同様にリヤバンパースポイラーとマフラーテール位置を確認しながら②LH用パイプとの締結ボルトを29N・mで締付けて、装着終了。
- (10) 取付後、走行する前にアイドリング状態で15分程の慣らし運転を行った後、5Km程の通常走行を実施し、各部のボルトに緩みがないか、テール出口の位置に変化が無いかを確認する。

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠ 警告（１）**固縛用フックは、船舶固縛で車両を輸送する時に使用する為のものです。他車の牽引には絶対に使用しないで下さい。**
牽引に使用しますと車両を損傷したり、思わぬ事故につながる恐れがあり、危険ですので絶対に
にお止め下さい。
- ⚠ 警告（２）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高 90mm（注１）**を確保して下さい。
（注１：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
- ⚠ 警告（３）車高調整式のサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて
最低地上高 90mmの確保を行って下さい。
- ⚠ 注意（１）取付直後の走行時、パイプに熱が入る事、及び熱による油分等の昇華により異臭が発生する場合
がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時は整備工場にて点検を受けて下さい。
そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（２）本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエン
ジン回転やステアリング操作等に十分注意し走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（３）本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。やむおえず悪路を走行する際はマフラー
が路面と干渉しないよう、十分な安全速度（20Km/h以下）で走行するようお願いします。
- ⚠ 注意（４）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因
となる場合があります。
- ⚠ 注意（５）走行中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、取付けた
工場や販売店に連絡を取り、指示を受けた後に点検を行って下さい。そのまま走行を続けると、
破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（６）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。
付着したままで御使用になれますと、マフラーの変色および錆の原因となります。
- ⚠ 注意（７）通常の使用におきましても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、多少の黄ばみ
が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ⚠ 注意（８）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。その為、触れると火傷の恐れがあります。
荷物の出し入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。